

関西学生ハンドボール連盟の強化と普及について

関西学連強化理事

明石光史

1. 現状

2018年関西インカレでは大阪体育大学がアベック優勝するという快挙を成し遂げました。このことは、関西学生ハンドボール連盟としては大変喜ばしいことと思います。しかしながら、男子においては西日本インカレで一校も全日本インカレの出場権が取れず（インカレ出場チームが最低限の5チーム）、全日本インカレでは大阪体育大学以外ベスト8に一校も進出できていない現状であります。また、女子においてもベスト8には一校も進出していない現状であります。このような現状から、関西学連として男女ともに西日本の他学連や関東学連と戦い勝ち切れる学連に改革していくことは急務であると考えます。

さらに、2018年度から関西リーグの1部男女が10チーム制になったことからリーグ期間が延伸し、各チームにおける西日本インカレまでの強化時間の短縮と負傷者に対する回復期間の短縮という問題も挙がってきます。春リーグ後から西日本インカレまでの期間は、春リーグでインカレ出場権がとれず、西日本インカレで成果を出す必要があるチームにとっては、大変重要な時期になると思われます。（今後、インカレ出場権取得制度変更の可能性はあります）

他方で、今後、人口減社会がおとずれることは明白であり、スポーツ人口も減少、ハンドボール人口の減少を食い止め、関西学連がさらなる発展を図るためにも普及を目的とした改革も必要と言えます。

2. 課題

関西学連としては、現状の春・秋のリーグ戦の活性化させることはもちろんですが、現状の5月末～6月に行われている関西学連ハンドボール選手権大会を再考し、関西学連全体のレベルアップを図ることが課題としてあがると考えられます。

一方で、インカレに出場しないチームにおきましては、秋リーグ終了から次期春リーグまで5ヶ月半もの間公式試合に参加する機会がないということも普及及び学連全体の強化に繋がっていないと考えられます。

3. 他学連の現状

春・秋のリーグは他学連それぞれがそれぞれの規模で関西学連同様に行われています。その他の期間において、他学連はそれぞれ独自の制度の大会を行っております。各学連の現状は以下の通りです。

【男子】

・関東学連

春リーグ後：ミニミニカップ、インカレ出場権を取得出来なかったチームは東日本へ

インカレ後：ミニミニカップ

・東海学連

春リーグ後：西日本出場校による強化練習会

インカレ後：3年生以下による大会（1校につき数チーム参加可能）

・九州学連

春リーグ後：2年生以下による大会（1校につき数チーム参加可能）

インカレ後：3年生以下による大会（1校につき数チーム参加可能）

注：参加規模は福岡県と周辺県の大学のみ

・中四国学連

春リーグ後：開催なし

インカレ後：開催なし

【女子】

・関東学連

春リーグ後：ミニミニカップ、インカレ出場権を取得出来なかったチームは東日本へ

インカレ後：ミニミニカップ

・東海学連

春リーグ後：西日本出場校による強化練習会

インカレ後：3年生以下による大会

・九州学連

春リーグ後：2年生以下による大会

インカレ後：3年生以下による大会

注：参加規模は福岡県と周辺県の大学のみ

・中四国学連

春リーグ後：開催なし

インカレ後：開催なし

4. 提言

上述のような関西学連の現実と他学連の取り組みから、リーグ戦以外の関西学連主催試合について改革することを提言したいと思います。試合開催時期につきましては、今まで通りの春リーグ後、加えてインカレ後（11月終盤～12月初旬 2週日までに終了：日本選手権に考慮して）を提案させていただきます。いくつかの案を下記に提案させていただきます。

5. 改革案

改革案①

春リーグ後：トーナメントを廃止

インカレ後：3年生以下による大会を実施

改革案②

春リーグ後：トーナメントを現状のまま実施

インカレ後：3年生以下による大会を実施

改革案③

春リーグ後：西日本インカレ出場チームによる強化大会を実施

インカレ後：3年生以下による大会を実施

改革案④

春リーグ後：西日本インカレ出場チームによる強化大会を実施

インカレ後：大会なし

改革案⑤

春リーグ後：Bチームによる大会を実施

(人数が満たない下部チームは柔軟に対応：3年生以下の参加)

インカレ後：大会なし

改革案⑥

春リーグ後：Bチームによる大会を実施（上述参考）

インカレ後：3年生以下による大会を実施

注①：インカレ後の大会実施方法

12月の第2週目までに終わる（日本選手権に考慮）。各大学数チームの参加可能。予選リーグを実施し、20分2セット先取制（攻撃重視制度？守備重視制度？）。

注②：審判

3年生以下大会及びBチーム大会では、可能な限り学生審判を派遣。西日本インカレ強化大会は、可能な限り公認審判員を派遣するが、学生審判員の派遣も充分あり得る。